

おきなわ県民の

県外あるある

OKINAWAKENMIN NO KENGAI ARUARU

県外に出て生活することでいろんなことが見えてきます。沖縄の学生にありがちな実録沖縄のあるあるを紹介!

実録(感動)事件簿①

卒業と同時に親が出してくれた進学費用をできるだけ返したい!

保護者の方に学費も生活費もすべて出してもらい管理栄養士を目指すA子さん。仕送りが4万円、バイト収入が月に4万円、さらに優秀な彼女は大学から毎月4万円の奨学金を給付されている。ってことは「じゃあ、毎月12万円が小遣いなのか?」の質問に対する答えが衝撃!!

毎月3万円で生活しています。残りの9万円は毎月貯金して卒業後に親に返すつもりです!

実録(感動)事件簿②

お父さんの気持ちを初めて知った!

宮古島から県外進学したD子さん。県外に進学して本当に良かったと思う。しかし、ひとつ気がかりなのが進学のために宮古島を離れる時にお父さんが見送りに来ていなかったこと。やっぱり反対なんだなあと思っていた彼女のお父さんの言葉に衝撃!!

はぁ? 空港に見送りに行ったら俺の方が泣いてしまうだろ! アガイ! 俺は家族の前で泣いたことは無い!

友だちとの待ち合わせに時間通りに行ったら遅いと言われた!

友だちの彼氏を下の名前で軽々しく呼んではいけない!

電車の降り方が分からず降車ボタンを探した!

実録(感動)事件簿③

兄ちゃんのみまで私が頑張りたい!

剣道を続けるために県外大学に進学したB子さん。お父さんの影響もあり小さい時から剣道に打ち込む彼女は礼儀正しく、沖縄県内で敵なしの強さに誇りを感じるほど。取材の最中、ふと見た竹刀袋に男子の名前が…。これは? と聞いたことに対する答えが衝撃!!

亡くなった兄さんの形見です。兄さんのみまで私が頑張ります!

県外の友だちのアクセが可愛かったから「インチキ〜♥️」と言ったら変な顔された!

実録(感動)事件簿④

オレは何がしたいんだ!

ミュージシャンを目指して県外進学をしたA男くん。もちろんミュージシャンとして自信もあるし何の問題も無い! ひと旗上げるぜ〜!! ってことで意気揚々と大都会へ! 思惑通り技術的にも感性も何の問題も無い! 都会でも全然やって行けるし…。でも… 一人である部屋でふと淋しくなりネガティブに…。結局おれは何をしたかのかと自分を見失いそうになった時のお母さんの電話の一言が衝撃!!

いつでも沖縄に帰っておいで! 何が食べたい?

沖縄出身と言うとみんなが寄ってくる♥️

実録(感動)事件簿⑤

お母さんに反抗していた自分が恥ずかしい!

テレビスタッフを目指すC子さん。特殊な業界だけに保護者にはなかなか理解されず、しかも高校時代には反抗期もあり高校卒業間際はお母さんと口も聞かないまま上京。一人暮らしの中で初めて知った親のありがたさ。インタビュー中に突然泣き出した彼女の言葉が衝撃!!

お母さんに酷い言葉を投げつけた自分が恥ずかしい! 親孝行したい!!

実録(感動)事件簿⑥

お母さんのお金は1円たりとも無駄にしない!

母子家庭なのにお金のかかる県外進学を許してくれたお母さん。そのためには1円たりとも無駄にしたいと言わないB男くん。4年生になって周りの学生が就職活動に精を出すなか、B男くんはまったく就職活動をしていないと言う。就職活動はしなくていいの? と聞いた時の答えが衝撃!!

学費を出してもらっているのに勉強せず就職活動をするのは筋が違うと思う!

入学直後のオリエンテーションの時、田舎(沖縄)から来たから恥ずかしいなあと思っていたら、ほとんどの人が地方出身だった!

電車に乗る時はいつもドキドキしている!